

アナログ/ISDN/ADSL (フレッツ登場前)

Analog, ISDN and ADSL access line (before FLET'S service)

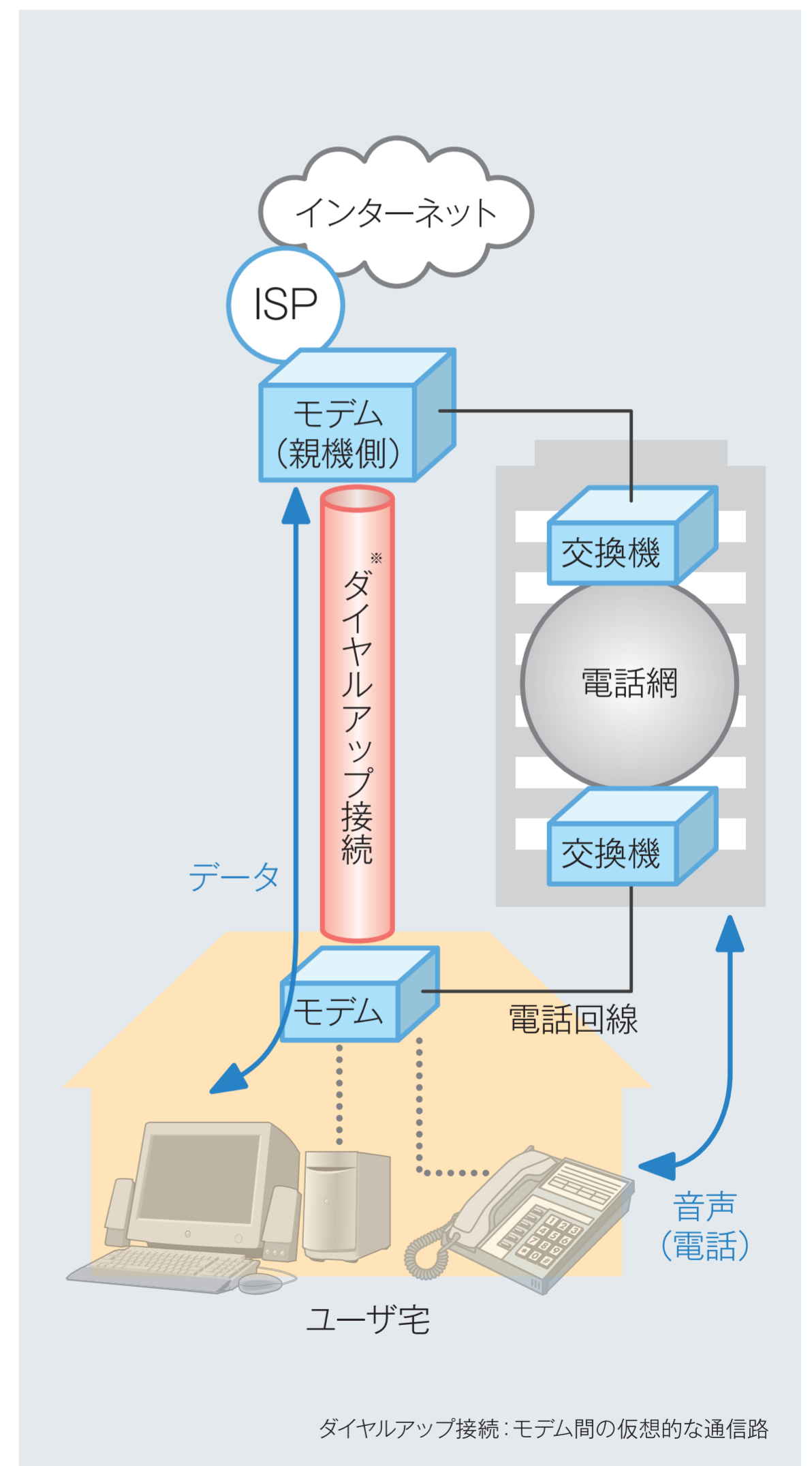
電話回線を使ったダイヤル接続に一部定額制サービスが登場

アナログ電話回線を利用したインターネット接続では、パソコンのデジタル信号を音声と同じアナログ信号に変調する装置(モデム)を使用していました。パソコンとISP側の拠点を接続するモデムの通信速度は、9600bps~56Kbps程度でした。

ISDNではユーザ宅内にTA(ターミナルアダプタ)を設置します。通信速度は、1chで64Kbps、2chで128Kbpsでした。アナログ電話回線・ISDNは、従量制のサービスのため、利用時間に応じた電話料金がかかりました。そこで、NTTは1995年(ISDNは1996年)、夜23時から翌朝8時の時間帯で特定の電話番号への通話が定額となるサービス「テレホーダイ」を開始しました。

ADSLは音声にデータを重畳し伝送する技術で、ユーザ宅内にはADSLモデム、局内側にはDSLAMを設置します。通信速度は数十Mbpsで、ブロードバンド時代のさきがけとなった技術です。

ISDN : Integrated Services Digital Network
ADSL : Asymmetric Digital Subscriber Line
DSLAM : Digital Subscriber Line Access Multiplexer
ISP : Internet Service Provider



ダイヤルアップ接続の例